

**【第 1 問 模範解答 (例 : 5 項目)】**

(※5 項目選択例)

**(1) 限定詞 (determiner)**

名詞句の前に置かれ、指示対象の特定や数量を示す語類である。例えば、*the, a, this, my* などがあり、名詞の意味範囲を限定する働きをもつ。

**(3) 音素 (phoneme)**

ある言語において意味の違いを生み出す最小の音の単位である。例えば英語では /p/ と /b/ は *pat* と *bat* のように意味を区別するため、異なる音素である。

**(5) 音の同化 (assimilation)**

隣接する音の影響を受けて音が変化する現象である。例えば *handbag* が [ˈhæmbæg] のように発音される場合、/d/ が /b/ の影響で変化している。

**(6) 派生接辞 (derivational affix)**

語の意味や品詞を変える接辞である。例えば *happy* に接尾辞 *-ness* を付けて *happiness* を作る場合、意味と品詞が変化する。

**(10) 等時性 (isochrony)**

言語のリズムに関する概念であり、英語のような強勢拍リズムでは強勢間隔がほぼ等しくなる傾向があるとされる。

**【第 2 問】**

**問 1**

言語が「rule-governed」であるとは、言語が体系的な規則に従って構成されていることを意味する。

例 1 : 音韻規則

英語では複数形の *-s* が /s/, /z/, /ɪz/ のように音環境に応じて変化する。

例 2 : 形態規則

過去形は通常 *-ed* を付けて形成される (例 : *walk* → *walked*)。

例 3 : 統語規則

英語では基本語順は SVO (主語 + 動詞 + 目的語) である (例 : *She likes music*)。

**問 2**

**prescriptive rules (規範文法)**

話し手に「正しい」言語使用を指示する規則である。

例 : 文末に前置詞を置いてはいけない、*ain't* を使うべきでない。

**descriptive rules (記述文法)**

実際の言語使用を観察し、その規則性を記述するものである。

例：英語話者が実際に文末に前置詞を置く (*Who are you talking to?*) という事実を記述する。

### 【第3問】

#### 問1

*Flying planes can be dangerous* は二つの意味をもつ。

- ① 飛行機を操縦することは危険である
- ② 飛んでいる飛行機は危険である

この曖昧性は、*flying planes* が

- 動名詞構造（動作）として解釈される場合と
- 名詞句（形容詞＋名詞）として解釈される場合の二通りの構造をもつために生じる。

#### 問2

(1a) *He is easy to please.* は、「彼は（他の人が）喜ばせるのが容易である」という意味であり、目的語としての *him* が省略されている構造である。

(1b) *He is eager to please.* は、「彼は（自分が）喜ばせたがっている」という意味であり、主語 *he* が *please* の動作主である。

したがって、(1a) では *he* は意味的には目的語であり、(1b) では主語であるという点で、深層構造が異なる。